

報道関係者 各位

大分県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

大分県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

平成21年11月27日（金）

新型インフルエンザに関する
対策本部からの情報提供について（第65報）

抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す遺伝子変異が検出された
新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）の確認について

新型インフルエンザ患者から採取したウイルスについて、抗インフルエンザウイルス薬の薬剤耐性検査を行ったところ次のとおり薬剤に耐性を示すことが確認されました。（11月26日までに国内で14例確認）

なお、厚生労働省によるとタミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異はウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

1 概要等

10月下旬に国立感染症研究所から検査試薬が配布されたことに伴い、大分県衛生環境研究センターにおいて、6月18日の県内発生から10月末までに新型インフルエンザ患者から採取されたウイルス155株について、薬剤耐性の検査を実施した。

このうち7月に採取された1株について、薬剤に耐性を示す遺伝子が確認されたことから、当該ウイルスを国立感染症研究所に送り、タミフル、リレンザについて薬剤感受性試験を依頼した。

11月26日、国立感染症研究所から薬剤感受性試験の結果が報告された。

今回、薬剤耐性が確認されたウイルスは、全155例のうち、7月に採取されたものであり、その後10月末までに採取された93例についても、薬剤耐性ウイルスは確認されなかったことから、県内において薬剤耐性ウイルスの広がりはないと考えている。

2 検査結果

(1) 薬剤耐性遺伝子検査（大分県衛生環境研究センターにおいて実施）

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性マーカーH275Yを検出

(2) 薬剤感受性試験（国立感染症研究所において実施）

オセルタミビル（商品名：タミフル）薬剤耐性あり（感受性低下を認める）

ザナミビル（商品名：リレンザ）薬剤感受性あり

3 患者等の概要

(1) 患者 40代 女性

(2) 当時の症状等 7月15日 発熱（37.9℃）

7月16日 咽頭痛、医療機関受診、検体採取後タミフル処方

7月17日 発熱（38℃台）

PCR検査にて新型インフルエンザ確定

7月18日 体温 朝36.5℃ 夕37.5℃

7月19日 体温 朝36.5℃ 以降平熱

(3) その他 当該患者の家族で発症した1名も回復している。

（家族の発症者については、耐性マーカーは検出せず。）

家族以外の周囲に同様の症状を呈するものは確認されていない。

大分県新型インフルエンザ対策本部

健康危機管理対策室（健康対策課）

ダイヤル：097-506-2673